

田子倉湖とブナ林に囲まれた雄大な風景を 望める視点場の整備

南会津-8

会津西部
(只見川流域)地区

只見町

南会津建設事務所
計画期間:H24~H26

地域づくりの方針

「六十里峠開通記念碑」を拠点に、周辺の自然・歴史文化等、地域資源の保全・活用・連携を図る。

絶景の続く国道252号沿いの目玉スポットとして、また福島県側の最後の視点場として連続性のある整備を行うことで、一連の只見川沿いの視点場が新たな観光スポットとなる。

主な事業内容

田子倉湖とブナ林に囲まれた雄大な風景が望める

視点場を整備

します。

事業概要図



地域の現状

当地区は、越後三山只見国定公園内にあり、新緑から晩秋にかけ、田子倉湖とブナ林に囲まれた雄大な風景が広がっています。特に深緑の田子倉湖と雪渓によってできた山々の起伏は、写真愛好家の間でも評価が高く、散策や自然観察、写真撮影等を中心とした多くの人が立ち寄る絶景ポイントになっています。しかし、駐車場がなく、また良好な景観があるにもかかわらず、視点場の整備が不十分であるため、視点場の高度化が求められています。

現在、只見町の「国道252号六十里越雪割り街道を愛する会」と「魚沼市六十里越雪割り街道を愛する会」が、県境を越えた交流があり、今後、ますます交流が拡大していくものと思われます。

地域づくりのあゆみ

平成18年

・国道252号六十里雪わり街道フォトコンテスト（只見町観光まちづくり協会）

毎年

・清掃ボランティア（国道252号六十里越雪割り街道を愛する会等）
・只見ふるさとの雪祭りフォトコンテスト

元気づくりの立役者たち

田子倉湖



ブナ林に囲まれた雄大な風景



地域の課題・今後の展望

田子倉湖とブナ林に囲まれた雄大な風景等多くの人が立ち寄る絶景ポイントがあるにもかかわらず、視点場の整備が不十分である。今後整備を図るとともに、観光客や写真愛好家へのPRが必要になります。

事業の効果

■期待される効果

- ①隣県などからの来訪者増加→ グリーンツーリズム、農家民泊等の促進、豊かな地域資源への関心が高まります
- ②県境を越えた連携、協働による地域活性化→ 持続可能な地域づくり
- ③安全で円滑な交通の確保→ 安全安心な暮らし

関係機関

- 福島県会津若松建設事務所企画調査課
- 南会津地方振興局
- 只見町環境整備課
- 国道252号六十里越雪割り街道を愛する会
- 魚沼市六十里越雪割り街道を愛する会
- 只見町観光まちづくり協会

TEL : 0242-29-5336

TEL : 0241-62-5202

TEL : 0241-82-5270

TEL : 0241-82-5250